

◎基本情報

事務事業名	鳴門市地域福祉(活動)計画策定事業		担当部署	健康福祉部 社会福祉課	
総合計画体系			根拠法令計画など	社会福祉法	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">▼</span> 27年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと			終期
(小項目)		地域福祉			
施策	3	地域福祉の総合的推進			
基本事業	4	地域福祉計画の策定			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理														
事業対象		地域住民、社会福祉を目的とする事業を経営する者、社会福祉に関する活動を行う者、市														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	①現行の仕組みでは対応しきれない地域の多様な生活課題に対応するために、地域福祉をこれからの福祉施策の重要な分野として位置付け、地域に密着した福祉サービスを計画化し、整備していく。 ②住民と行政とが協働して、地域福祉推進のための福祉サービスの整備や活動の開発、協働のルールづくりなどを構想し、計画化する。 ③徹底的な住民参加により計画を策定していくことで、住民の地域福祉に関する意識の醸成、住民・地域・団体・市社協・市の相互の関係形成、地域の実情に即した地域福祉実践活動の創出などを図り、住民と行政が協働して「新たな支え合い」の仕組みをつくりだす。														
事業計画	29年度に何を計画していたか	・広報紙やウェブサイトの活用ならびに住民への地域福祉の意識醸成を図るための周知啓発 ・徳島大学との共同研究に基づく計画案策定 ・地域福祉計画等策定プロジェクトチームメンバー間の協議 ・地域福祉計画等策定市民会議・地域座談会の開催 ・地域福祉計画案の作成 ・パブリックコメントの実施 ・地域福祉計画審議会の開催(答申・回答)														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画策定</td> <td>市民会議 地域座談会 開催</td> <td>完了</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位	計画策定	市民会議 地域座談会 開催	完了	△	△	△	
指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位										
計画策定	市民会議 地域座談会 開催	完了	△	△	△											

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	住民の地域福祉への関心を高めるため、公式ウェブサイト等の活用により、市民会議、地域座談会の内容等を広報周知することで住民の福祉意識の醸成を図った。 地域住民と市・市社協職員等で構成する市民会議を設置し、市民会議メンバーならびにその他地域住民による地域座談会をワークショップ形式で地域別に開催することで、計画骨子となる地域課題等の抽出を行った。 計画の素案について、審議するため地域福祉計画審議会を開催した。徳島大学との共同研究契約に基づき協働して事業を進めた。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位
活動指標	1 地域福祉計画審議会開催	1	3	△	△	△	回
活動指標	2 市民会議・地域座談会開催	16	57	△	△	△	回
成果指標	計画策定	継続	完了	-	-	-	
成果指標	目標達成率(実績/目標)	△	100.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	完了	事業全体の進捗状況		-			

(千円)

財源内訳	平成29年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額	0	0	0	0	1,199	1,199	
		補正予算額	0	0	0	0	0	0	
		繰越予算額	0	0	0	0	500	500	
		全体予算額	0	0	0	0	1,699	1,699	
		決算額	0	0	0	0	757	757	
		繰越額	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)	総人件費		総事業費			
	0.2	0.0	1,447	2,204					

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：鳴門市地域福祉(活動)計画策定事業】

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	757	757			
	うち一般財源	757	757			
	人件費	1,631	1,447			
	総事業費	2,388	2,204			

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった	市民会議、地域座談会を地区毎に多く開催することにより、地域・住民が実際に感じている『課題』等を住民の生の声として抽出することが出来た。しかし、座談会参加者が固定するという事もあり、幅広い世代の参加者増加に工夫の余地があった。
	効率性	B:概ね効率的だった	市民会議、地域座談会等、会の開催、計画素案の策定等を市社協職員と徳島大学講師等と協働し、市は正規職員2名で業務を分担しながら活動を行った。
②成果に対する評価	指標名	計画策定	
	目標	完了	住民、市、社協等で協働し、市民会議・地域座談会等の開催を経て、策定した地域福祉(活動)計画案について、審議会の審議を受けて、計画策定に至った。
	実績	完了	
	評価	A:目標を達成できた	
③総合的な評価		B	

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度				
	H31年度				